



**JTTRI**  
Japan Transport and Tourism Research Institute



**一般財団法人 運輸総合研究所**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番19号UD神谷町ビル  
TEL:03-5470-8400 FAX:03-5470-8401

URL : <https://www.jttri.or.jp/>



2026-27



**JTTRI**  
Japan Transport and Tourism Research Institute

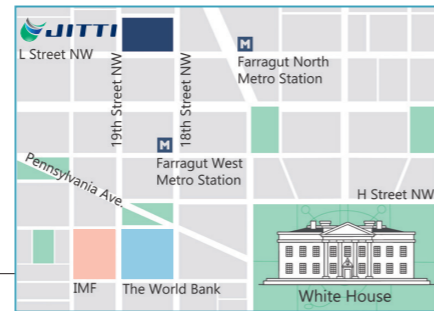
**一般財団法人 運輸総合研究所**  
Japan Transport and Tourism Research Institute



**ワシントン国際問題研究所**

Japan International Transport and Tourism Institute, USA  
1819 L Street NW, Suite 1000, Washington, D.C. 20036  
TEL +1-(202)833-9763 FAX +1-(202)833-9769

URL : <https://www.jittiusa.org/>



Japan Transport and Tourism Research Institute  
ASEAN-India Regional Office



**アセアン・インド地域事務所**

ASEAN-India Regional Office  
Serm-Mit Tower Unit 1704, 159/27 Sukhumvit 21 Road,  
Khlong Toei Nuea, Wattana, Bangkok 10110, Thailand  
TEL +66-(0)2-258-6928

URL : <https://www.jttri-airo.org/>



**ミライの運輸・観光は、きっと、もっと面白い。**

運輸総合研究所は、交通運輸及び観光に関する  
総合的な研究・調査を実施し、  
未来への提言を行っています。



最新の活動状況やセミナー等の案内は上記WEBサイトでお知らせしているほか、  
月2回発行のメールマガジンや、X(旧Twitter)公式アカウントにて  
随時お届けしています。ぜひ配信登録/フォローをお願いします。



**メールマガジン**

[https://krs.bz/jterc/m/profile\\_new](https://krs.bz/jterc/m/profile_new)



**@jttri\_official**

[https://x.com/JTTRI\\_official](https://x.com/JTTRI_official)



東海道新幹線と京浜東北線（浜松町駅）



熊野古道・大門坂  
提供：(公社)和歌山県観光連盟

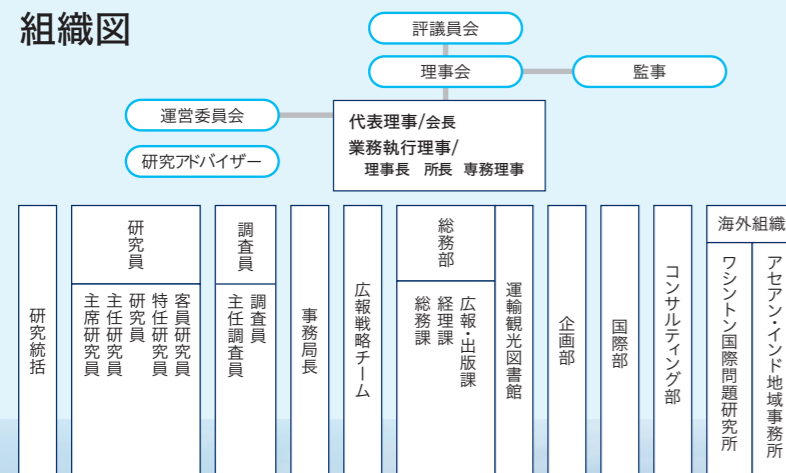
## はじめに

運輸総合研究所は、旧運輸省（現国土交通省）のイニシアティブにより、日本の産官学のご支援を受けて 1968 年に設立されたシンクタンクで、交通運輸及び観光分野における様々な研究調査活動や政策提言を行っています。「学術研究と実務的要請の橋渡し」という設立の理念に立脚し、交通運輸及び観光分野の諸課題について、「世の中の役に立つ」、「使いものになる」研究調査や政策提言を行い、それらが課題解決に資するものとなるように取り組んでいます。

また、東京の本部と海外拠点である米国・ワシントン D.C. のワシントン国際問題研究所 (JITTI USA) 及びタイ王国・バンコクのアセアン・インド地域事務所 (AIRO) とが一体となって、北米から東南アジア・南アジアまでのインド・太平洋地域や欧州を視野に入れた広域的かつ戦略的な活動を行っています。

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

## 組織図



## 概要

- 名称** 一般財団法人 運輸総合研究所  
(略称:運輸総研、JTTRI)
- 代表理事** 会長 宿利 正史
- 沿革** 1968年10月 財団法人運輸経済研究センター(JTERC)設立  
1998年4月 財団法人運輸政策研究機構(ITPS)に改称  
2012年4月 一般財団法人に移行  
2016年6月 現名称に改称
- 職員数** 97名(2026年4月1日現在)



オーシャン ネットワーク エクスプレス (ONE) のコンテナ船  
提供：Ocean Network Express Pte. Ltd.



東京国際空港(羽田空港)

## ご挨拶

世界では今、米国・イスラエルによるイラン攻撃、ロシアとウクライナの戦争、米中の構造的な対立等々不安定で不確実な国際情勢が続いています。

このように混迷する世界の厳しい現実が白日の下にさらされる中で、自由、民主主義、人権、法の支配といった普遍的な価値を共有する国家間の多重的な連携がますます重要となっています。

当研究所においては、海外拠点である米国のワシントン国際問題研究所 (JITTI USA) 及びタイ王国のアセアン・インド地域事務所 (AIRO) との連携の下、北米から東南アジア・南アジアに至る広範な地域を対象に、最新の交通運輸・観光に関する調査研究、諸外国との連携の強化に取り組んでまいりました。

特にインドは、近年経済成長が著しく、国際社会における存在感を高めており、交通運輸・観光分野における重要なパートナーとして連携の重要性が高まっていることから、「インド事務所(仮称)」を設置いたします。また欧州は、交通運輸・観光分野で先進的かつ成熟した政策や取組を展開しており、国際規格の策定などで国際社会において強い影響力を持つことから、「欧州事務所(仮称)」を設置いたします。

当研究所では、最新の交通運輸・観光に関する情報や動向を多角的に調査・分析するとともに、蓄積した情報や知見、経験などの共有、情報提供、啓発活動などを通じ、日本と諸外国の交通運輸・観光の持続的発展、連携の強化を図ってまいります。

他方、日本国内では、人口減少や高齢化が同時進行する日本の社会経済構造、大規模自然災害の頻発化・激甚化、激変する国際情勢や地政学リスクの増大等を背景に、交通運輸・観光産業の革新、デジタルトランスフォーメーション (DX) の展開やAIの活用、脱炭素化 (GX) の加速、造船や海運などのサプライチェーンの強靱化や経済安全保障の強化、多層的な人的交流の推進などが待たない状況です。

これらの課題に対する取り組みについては、中長期的な視点に立ちつつ、国際的な知見を活かし、また、欧州の政策を含め国際的な動向を見極めながら、確固たる信念に基づいて進めていかなければならないと考えています。

以上のような認識の下、当研究所では、本年度を初年度とする中期戦略を策定し、「世の中の役に立つ」、「使いものになる」成果を上げることを目指して、より一層皆様との交流・連携を深め、研究調査、シンポジウム・セミナー、コンサルティング等の活動に取り組んでまいります。

最後になりましたが、当研究所の活動に多大なご理解とご支援をいただいております日本財団に深く感謝申し上げますとともに、賛助会員をはじめ当研究所の活動にご協力いただいております皆様に厚く御礼申し上げます。

2026年4月



一般財団法人 運輸総合研究所  
会長 宿利 正史



# 活動内容

## 研究調査・政策提言

中期戦略に掲げる5つの重点テーマに則して、国内外から最新の情報や知見を取り込み、これまでの考え方にとらわれない新たな着眼点に立ち、先駆的な研究調査、政策提言、国際的な連携・協力の強化を行います。



### 最近の主な政策提言・研究成果

#### 「バス・タクシー・鉄道の自動運転普及加速化に向けた提言」(2025年6月)

自動運転導入の課題解決と普及加速化に向け、①「安全性と各種乗客サービスの運用確立」、②「関係者の連携・協働(共創)による事業性の確立」、③「補助や基金の制度構築」、④「社会的受容の向上と利用者や地域住民の理解と協力」の4つを柱とする提言を発表しました。

<https://www.jttri.or.jp/news/2025/20250610003046.html>



#### 緊急提言「地域交通制度の革新案」(2025年6月)

地域交通事業の存在・存立自体が困難となり、持続可能な社会の実現が危機的な状況であることから、地域交通制度の革新案について27項目に取りまとめ、緊急提言を発表しました。

<https://www.jttri.or.jp/news/2025/20250630003061.html>



#### 「宿泊産業の生産性向上についての手引き」(2025年6月)

宿泊産業、地域観光産業の生産性向上を支援するために、「施設への投資」、「業務改革及び人的資本の蓄積」、「顧客がサービス等に対して感じる価値及び経営者のプライシング能力の向上」の3つの観点で、宿泊事業者、観光協会・DMO、自治体の皆様へ向けて、現場での実践につながる取組内容をわかりやすく整理し、発表しました。

<https://www.jttri.or.jp/news/2025/20250620003051.html>



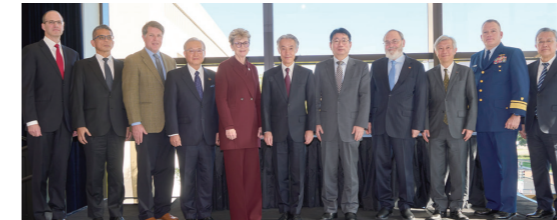
現在研究中の研究テーマ一覧はこちら

<https://www.jttri.or.jp/research/>



## 国際社会との連携・協力

国や地域の枠を越えて人やモノが活発に移動し、地球温暖化などの地球規模の課題が顕在化している国際社会の中で、グローバルな視点で交通運輸及び観光が果たすべき役割を常に意識し、国際社会との連携・協力を推進しています。具体的には、中期戦略に掲げる「5つの重点テーマ」について、最新の交通運輸及び観光に関する情報や動向を多面的に調査・分析するとともに、関係各国・地域の官民関係者との連携の強化や相互理解につながるハイレベルの交流、質の高い研究調査、シンポジウム・セミナーの開催を広域的かつ戦略的に進めています。これらの活動により、日本と諸外国の交通運輸及び観光分野の持続的発展、「自由で開かれたインド太平洋」の実現やG20などの国際的な連携・協力の強化に貢献します。



米国ワシントンD.C.でのシーレーンの安全確保とサプライチェーンの強靱化シンポジウム



日タイ観光ワーキンググループ



インドシタラン財務大臣(中央)・N.K. シン第15代財務委員長(右)と宿利会長

### ワシントン国際問題研究所



Japan International Transport and Tourism Institute, USA (JITTI)  
北米及び欧州等の交通運輸・観光に関する情報収集等を強化するため、1991年にワシントンD.C.に設立しました。米国の最新動向調査や日本の政策紹介に加え、日米政府要人や有識者を招いたシンポジウムの開催等を通じて、日米両国の官民関係者間の連携の強化、情報共有と相互理解の増進に取り組んでいます。所長以下12名のスタッフで活動しています。

### アセアン・インド地域事務所



ASEAN-India Regional Office (AIRO)  
東南アジア地域・南アジア地域の交通運輸・観光に関する研究調査や情報収集、セミナー・シンポジウムの開催、政府・学界・実務者等への有益な情報発信及び協力関係の構築を目指し、2021年4月にタイ王国バンコクに設立しました。交通運輸・観光分野で地域のニーズを踏まえた貢献ができるよう、所長以下8名のスタッフで活動しています。

## 国内外の研究機関との連携

韓国交通研究院 (KOTI) や中華人民共和国国家発展改革委員会総合運輸研究所 (ICT) 等の国内外の研究機関と研究連携や交流を行うとともに、アジア交通学会 (EASTS) や国際交通フォーラム (ITF) 等の国内外の学会等において研究発表や情報発信を行っています。2019年から EASTS 国際大会において公共交通及びモビリティ活動分野における優秀論文を表彰する「運輸総合研究所特別賞 (JTTRI Special Award)」を、2023年から国際航空輸送学会 (ATRS) 世界大会において、持続可能性等をテーマに「運輸総合研究所最優秀論文賞 (JTTRI Best Paper Award)」を授与しています。



- 韓国交通研究院 (KOTI) \*
- 韓国海洋水産開発院 (KMI) \*
- 高麗大学校海上法研究センター (KUMLC) \*
- 中華人民共和国国家発展改革委員会総合運輸研究所 (ICT)
- ベトナム文化芸術スポーツ観光研究所 (VICAST) \*
- ガティ・シャクティ大学 (GSV) \*
- (旧インド国立鉄道交通大学 (NRTI) )
- インドナショナル・マリタイム・ファウンデーション (NMF) \*
- ジョンズ・ホプキンス大学 SAIS ライシャワーセンター\*
- 米国公共交通協会 (APTA)
- アジア交通学会 (EASTS)
- 世界交通学会 (WCTRS)
- 国際航空輸送学会 (ATRS)
- 国際交通フォーラム (ITF)
- 国際公共交通連合 (UITP)

ATRS (国際航空輸送学会) 第28回世界大会  
2025 JTTRI Best Paper Awardの受賞者と共に(2025年7月)



NMFとのMOU調印式  
(2025年10月)



### 国内

- 東京大学公共政策大学院
- 交通・観光政策研究ユニット (TTPU) \*
- 一般財団法人日本みち研究所\*
- 一般財団法人みなと総合研究財団\*
- 国連世界観光機関 (UN Tourism) 駐日事務所\*
- 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 (JRTT) \*
- 一般社団法人国際高速鉄道協会 (IHRA) \*
- 公益財団法人日本海事センター (JMC) \*
- 公益社団法人土木学会
- 日本交通学会
- 一般社団法人計画・交通研究会
- 航空政策研究会

\*印の機関とはMOUを締結

## シンポジウム・セミナー等の開催

当研究所の研究調査内容を発表する場として、研究成果や政策提言等について有識者を交えて議論する「シンポジウム」、研究調査の成果を報告発表する「運輸政策コロキウム」、「研究報告会」を開催しているほか、外部有識者による講演を中心とする「運輸政策セミナー」、海外の政府関係者、有識者が講演を行う「JTTRI グローバルセミナー」等を定期的に開催しています。

また、国内のみならず、米国やアジア各地においても、国内外の政府関係者や有識者・事業者を招聘して国際シンポジウム・セミナーを随時開催し、情報発信・交流に努めています。

<最近開催したシンポジウム・セミナーの例>

### 第5回JTTRI グローバルセミナー

インドの大都市圏における  
鉄道整備と沿線開発



- 2026/2/10 (火) 14:00~17:30
- 東京 ※オンライン配信併用



### 日米国際交流シンポジウム2025

多層的な交流で築く、  
信頼と共創の日米パートナーシップ



- 2025/11/20 (木) 15:00~18:00 (現地時間)
- 米国・ワシントンD.C. ※オンライン配信併用



### 交通脱炭素シンポジウムIV

利用者と歩む交通産業のカーボンニュートラル

- 2025/4/21 (月) 14:00~17:00
- 東京 ※オンライン配信併用



### 第3回日越観光・人的交流イベント

観光分野に創造的付加価値を  
—地域の持続可能な未来に向けて



- 2025/11/12 (水) 9:00~12:00 (現地時間)
- ベトナム・ハノイ ※オンライン配信併用



## コンサルティング事業（調査受託）

国、地方自治体、独立行政法人、民間会社等から公共交通・モビリティ、高速鉄道、都市鉄道、幹線鉄道、航空、物流、観光など様々な分野の政策企画立案や計画づくり等のための調査を受託しています。

特に交通計画関連を中心とした調査実績に基づく知見の蓄積や有識者とのネットワークを活用し、国際拠点空港等の滑走路新設・増設の計画策定の基礎的検討、東京、大阪などの都市鉄道の新線建設にかかる将来需要予測、事業採算性分析、費用便益分析等による事業免許取得に向けた事業性の検討、補助対象事業となる鉄道施設の事業評価など、実務的なニーズに対応した研究調査に取り組み、社会に貢献しています。

## 機関誌・書籍の出版

### 機関誌「運輸政策研究」

1998年に創刊した「運輸政策研究」は、「学術研究と実務的  
要請の橋渡し」という当研究所の設立理念に基づき、多角的な  
視点での公正な査読、多様な有識者等で構成する編集委員会  
における綿密な審議を経て、交通・運輸及び観光分野に関する  
論文等を掲載しています。J-STAGEにて全て無料公開しています。



<https://www.jttri.or.jp/journal/>



### 機関誌「運輸総研だより」

当研究所の活動の様子や成果を分かりやすい形で皆様にお伝  
えするために、「運輸総研だより」を2021年12月より、春  
夏秋冬の年4回発行しています。運輸総合研究所WEBサイ  
トにて全て無料公開しています。



<https://www.jttri.or.jp/journal/dayori.html>



### 出版図書

「数字で見る鉄道」「都市・地域交通年報」等、  
交通運輸・観光に関する書籍の出版・販売  
を行っています。



<https://www.jttri.or.jp/publish/>

## 運輸観光図書館

「運輸観光図書館」では、交通運輸・観光に関する内外の図書・資料の収集に努めており、2026年3月末現在、図書約3万7千冊、雑誌等約1万7千冊等を保有しています。これらの図書、雑誌及び資料は、広く研究調査活動に活用されているほか、関係官庁の職員、学識経験者、賛助会員等の閲覧及び貸出に供されるとともに、一般にも広く開放しています。

**利用時間** 午前 10:00~12:00 (休休み 12:00~13:00)  
午後 13:00~17:30  
※午前の入館は11:30までに、午後の入館は17:00までをお願いします。

**休館日** ○土曜日、日曜日、祝祭日 ○創立記念日 : 10月1日  
○月末最終日 (休日に当たる時はその前日) ○年度未整理期間: 土日を除く3日間  
○年末年始: 12月27日~1月7日

**蔵書検索** 運輸観光図書館で所蔵している図書雑誌は、WEB ページから検索することができます。



### 運輸観光図書館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番19号 UD 神谷町ビル (2F)  
TEL 03-5470-8413 FAX 03-5470-8411 E-mail libroom@jttri.or.jp

<https://www.jttri.or.jp/about/outline/inforlib/>



## 賛助会員

一般財団法人運輸総合研究所の活動趣旨に賛同し、当研究所の活動を支援していただける個人や団体、法人の賛助会員を募集しております。

会費 1口 年間 12万円

### 主な会員特典

- 機関誌、数字で見る鉄道、都市・地域交通年報等の当研究所の定期刊行物の配付
- 当研究所が開催するシンポジウム、セミナー等の録画の先行配信
- 運輸観光図書館の図書の貸出、館内ワークスペースの利用等
- 当研究所の研究員による「出前講演」の提供

<https://www.jttri.or.jp/sanjo/>

